

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
専修学校 熊本YMCA学院		昭和52年3月23日	岡 成也		〒860-8739 熊本市中央区新町一丁目3番8号 (電話) 096-353-6393		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 熊本YMCA学園		平成5年3月30日	菅 正康		〒860-8739 熊本市中央区新町一丁目3番8号 (電話) 096-353-6393		
目的	YMCAの特色を生かしたホテル分野に関する教育を行うとともに、講義や企業との連携により整えられた授業や実習を通して、実務に関する専門的かつ実践的な知識、技術を習得し、一流のホテルスタッフを目指す。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
商業実務	商業実務専門課程	国際ホテル科		平成10年12月21日	無		
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2544	1824	0	480	0	288
	125単位						
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人		15 人	3 人	7 人	10 人		
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価	■成績表 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験結果、出席状況、授業態度を総合的に評価し、6割以上の評価で単位の取得が認定する。			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月25日～1月7日 ■春季:3月1日～3月31日		卒業・進級条件	進級:当該学年で習得すべき、全ての科目についての単位の取得 卒業:習得すべき、全ての科目についての単位の取得			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 担任から本人と保護者へ連絡を取り、状況を把握したうえで適切な指導を行う。定期的な連絡も欠かせない。		課外活動	■課外活動の種類 野球、サッカー、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、ダンス、検定 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ホテル・旅館・レストラン・ブライダルハウス・旅行業・レジャー施設など ■就職率 ^{※1} 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 100 % ■その他 (平成 26 年度卒業者に関する平成27年5月1日 時点の情報)		主な資格・検定等	ホテル実務技能認定試験 実用英語技能検定 サービス接客検定 中国語検定 秘書技能検定 日本語ワープロ・表計算検定			
中途退学 の現状	■中途退学者 1 名 平成26年4月1日 在学者 18 名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 17 名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)		■中退率 5.6 %				
	■中途退学の主な理由 学校生活不適應、進路変更、病気、けが						
	■中退防止のための取組 担任の日常的なサポートに加え、個別面談、三者面談、学院長を含む四者面談を段階を追って実施。						
ホームページ	URL: http://www.kumakomo-ymca.or.jp/vocational/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成を行うに当たり、委員の方には本校の教育理念を理解いただき、企業と学校が連携していく事を基本方針とする。ホテル業を目指す学生たちに、お客様に最高のサービス技術、知識、コミュニケーション能力など、これらの能力を確実に身に付ける為、関係企業や教育機関から要望等を伺い、学生の実態も併せて考慮しながら教育課程の編成を検討していく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月11日現在

名前	所属
福島 正継	一般社団法人 熊本県建築士事務所協会 会長
亀浦 正行	(有)オフィス尚 代表取締役
熊本 哲朗	熊本YMCA学院 建築科 学科長
井上 真二	有限会社スイス 管理課長
下條 寛二	税理士法人近代経営 専務取締役
中尾 陽子	熊本YMCA学院 経営ビジネス科 学科長
松山 陽子	向陽台病院 法人局長
福島 英生	熊本診療情報管理懇話会会長(熊本県立大学教授)
藤森 美幸	熊本YMCA学院 医療事務管理学科 学科長
林田 美恵子	コミュニケーショントレーニングセンター代表
西村 浩二	熊本ホテルキャッスル 取締役販売支配人
光永 尚生	熊本YMCA学院 国際ホテル科 学科長
橋本公雄	熊本学園大学 社会福祉学部教授
福島貴志	NPO法人 IOBスポーツ推進事業団 理事長
横山 純一郎	熊本YMCA学院 生涯スポーツ科 学科長
吉岡 久美	九州看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科准教
神山 博行	合同会社 living space 有料老人ホーム デイサービス 縁(えん)小島
吉田 しのぶ	熊本YMCA学院 老人ケア科 学科長
永野 典詞	九州ルーテル学院大学 人文学科 子ども専攻 教授
緒方 健一	慈愛園子供ホーム 園長
西本 愛	熊本YMCA学院 児童福祉教育科 学科長
岡 成也	熊本YMCA学院 学院長

(開催日時)

第1回 平成27年7月30日 18:30~20:30

第2回 平成27年9月 7日 18:30~20:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

科目名	科目概要	連携企業等
ホテル実習A	ホテル内の指定された部署で本物のサービスとホスピタリティを学ぶ。日頃の学習成果を、現場で実際に体験し、新たな学びを深めていく。	ホテル日航熊本、熊本ホテルキャッスル、ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ、ホテルニューオータニ熊本
ホテル実習B	ホテル内の指定された部署で本物のサービスとホスピタリティを学ぶ。日頃の学習成果を、現場で実際に体験し、新たな学びを深めていく。	ホテル日航熊本、熊本ホテルキャッスル、ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ、ホテルニューオータニ熊本

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教職員研修規定に基づき、教員は専門科目に関する知識や技術の研鑽を積み、そしてその教授法について定期的・継続的に多様化している学生に対応すべく研修や研究の機会を持つ事とする。研修を通して常に新しい情報を収集し、授業を通して学生に還元することを目的とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月11日現在

名 前	所 属
村上 泰浩	崇城大学 工学部 建築学科 教授
本田 仁美	卒業生、在校生の保護者
横山 孝一	(株)ココファーム 人事課長
本田 あずさ	熊本市民病院 診療情報管理士
櫻井 孝一	ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ社長兼CEO
大塚 永幸	公益財団法人熊本YMCA
跡部 尚子	特別養護老人ホーム くわのみ荘 理事長
三森 美香	児童養護施設 愛隣園 主任保育士

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.kumamoto-ymca.or.jp/vocational/](http://www.kumamoto-ymca.or.jp/vocational/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.kumamoto-ymca.or.jp/vocational/](http://www.kumamoto-ymca.or.jp/vocational/)

(別紙様式2)

授業科目等の概要

(〇〇専門課程〇〇学科) 平成〇〇年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			朝の読書Ⅰ	新聞持参。国内外の経済や社会情勢を知る。就職試験に生かす。	1前	24	1	○							
○			朝の読書Ⅱ	新聞持参。国内外の経済や社会情勢を知る。就職試験に生かす。	1後	24	1	○							
○			朝の読書Ⅲ	新聞持参。国内外の経済や社会情勢を知る。就職試験に生かす。	2前	24	1	○							
○			朝の読書Ⅳ	新聞持参。国内外の経済や社会情勢を知る。就職試験に生かす。	2後	24	1	○							
○			キリスト教学Ⅰ	聖書の基本的な知識、及び、ストーリーの概要を学び、そこから聖書の人間観等を学ぶ。	1前	24	1	○							
○			キリスト教学Ⅱ	聖書の基本的な知識、及び、ストーリーの概要を学び、そこから聖書の人間観等を学ぶ。	1後	24	1	○							
○			キリスト教学Ⅲ	聖書のエピソードから聖書の人間観・神に対する考え方を学ぶ。	2前	24	1	○							
○			キリスト教学Ⅳ	イエス・キリストのエピソードから、聖書のメッセージを学ぶ。	2後	24	1	○							
○			教養講座Ⅰ	ホテルの第一線で活躍している卒業生を招いて講話、講師の講義、DVD視聴等を通して、ホテルマンとして、社会人としての在り方を学ぶ	1前	24	1	○							
○			教養講座Ⅱ	ホテルの第一線で活躍している卒業生を招いて講話、講師の講義、DVD視聴等を通して、ホテルマンとして、社会人としての在り方を学ぶ	1後	24	1	○							

○		教養講座Ⅲ	ホテルの第一線で活躍している卒業生を招いて講話、講師の講義、DVD視聴等を通して、ホテルマンとして、社会人としての在り方を学ぶ	2 前	2 4	1	○												
○		教養講座Ⅳ	ホテルの第一線で活躍している卒業生を招いて講話、講師の講義、DVD視聴等を通して、ホテルマンとして、社会人としての在り方を学ぶ	2 後	2 4	1	○												
○		就職対策Ⅰ	就職活動がスムーズに進むように自己分析、志望動機や自己PRの作成について指導する。	1 前	4 8	3	○												
○		就職対策Ⅱ	就職活動がスムーズに進むように自己分析、志望動機や自己PRの作成について指導する。	1 後	4 8	3	○												
○		就職対策Ⅲ	就職試験に向けて、面接指導、一般教養など、様々な手続きや試験について理解を深める。	2 前	4 8	3	○												
○		就職対策Ⅳ	就職試験に向けて、面接指導、一般教養など、様々な手続きや試験について理解を深める。	2 後	2 4	1	○												
○		ワープロ実習Ⅰ	コンピューター操作に伴う高度な知識や技術を学び、管理能力や実務に生かせるスキルを習得。	1 前	4 8	3						○							
○		ワープロ実習Ⅱ	コンピューター操作に伴う高度な知識や技術を学び、管理能力や実務に生かせるスキルを習得。	1 後	4 8	3						○							
○		ワープロ実習Ⅲ	コンピューター操作に伴う高度な知識や技術を学び、管理能力や実務に生かせるスキルを習得。	2 前	4 8	3						○							
○		ワープロ実習Ⅳ	コンピューター操作に伴う高度な知識や技術を学び、管理能力や実務に生かせるスキルを習得。	2 後	4 8	3						○							
○		コンピューター実習Ⅰ	コンピューター操作に伴う高度な知識や技術を学び、管理能力や実務に生かせるスキルを習得。	1 前	4 8	3						○							
○		コンピューター実習Ⅱ	コンピューター操作に伴う高度な知識や技術を学び、管理能力や実務に生かせるスキルを習得。	1 後	4 8	3						○							
○		コンピューター実習Ⅲ	コンピューター操作に伴う高度な知識や技術を学び、管理能力や実務に生かせるスキルを習得。	2 前	4 8	3						○							

○		中国語会話Ⅳ	中国語検定4級取得を目指す。ホテルで使用する接客用語やフレーズの強化練習。	2後	24	1	○													
○		英 話Ⅰ	ホテルスタッフとして必要な英単語を、基本会話と併せて学習する。	1前	96	6	○													
○		英 話Ⅱ	ホテル業務で必要とされる基本的な英語表現を学習する。	1後	96	6	○													
○		英 話Ⅲ	場面に応じて活用できる実用的な英語表現を、基本的な語彙と併せて学習する。	2前	96	6	○													
○		英会話Ⅳ	ホテル業務で必要とされる実用的な英語表現を学習する。	2後	96	6	○													
○		ホテル実習対策	学生が効率的に実習効果を上げ、以後の学習意欲が保持されるようにする。今後控えている、ホテル実習に向けて授業展開をする。	1後	24	1	○	○												
○		ホテル実習A	ホテル内の指定された部署で、本物のサービスとホスピタリティを学ぶ。日頃の学習成果を、現場で実際に体験し、新たな学びを深めていく。	1前	240	8		○												○
○		ホテル実習B	ホテル内の指定された部署で、本物のサービスとホスピタリティを学ぶ。日頃の学習成果を、現場で実際に体験し、新たな学びを深めていく。	2前	240	8		○												○
○		ホテル見学Ⅰ	熊本のホテル見学。卒業生や人事、現場担当スタッフからの講話。テーブルマナーやショールーム等を通して本物のサービスを学ぶ。	1前	24	1														
○		ホテル見学Ⅱ	福岡のホテル見学。卒業生や人事、現場担当スタッフからの講話。テーブルマナーやショールーム等を通して本物のサービスを学ぶ。	1前	24	1														
○		海外研修	世界でも有数のリゾートホテル（ハワイ）へ行き、海外のホテル事情や文化、歴史を学ぶ。	2後	48	3														
合計					59 科目			2520単位時間(125 単位)												

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	期
		1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。